

ヴァイオリニストTAIRIKの戯言

〔第37回〕

弦が揺れると、僕は季節の風になる

+ 文 佐田大陸 Text by Tairik Sada +

TAIRIKの独断と偏見による
【音楽家の専攻別個性】

クラシックの演奏家は、音楽学校に行ったときに、弦楽器専攻、声楽専攻、指揮専攻、といったように自分の専門科目を履修します。例えばヴァイオリンであれば、弦楽器専攻です。

学生時代から僕は、楽器別で性格のタイプが分かれるような気がしてなりませんでした。

今回は、僕が感じる各楽器の持つ個性について書いてみたいと思います。もちろん、一人ひとり違う人間ですからすべてそれに当てはまるわけではありません。

これを読んで「そんなわけないだろう」と思われる方、始めに謝っておきます。「すみませんでした!」

あくまでも僕の独断と偏見なので、血液型による性格診断や、朝の星座占いみたいに、気軽な気持ちで読んでいただけたら嬉しいです。

まず、作曲科。とても変人です。中身はもちろん見かけも変人が多い。天才が多い。提出期限にルーズ。月単位で連絡が取れなくなります。

ピアノ科。学校ではピアノ科の人数が一番多い。お嬢様で常識に欠ける。突き抜けてうまい人は、変な人で部屋が汚い。ちなみに僕は、演奏家として

生きていくうえで、一番狭き門はピアノだと思っています。

続いて弦楽器。

低音のコントラバスの人は、独自の世界観、オリジナルなフティシズムを持っている。弦楽器の中では一番専攻を飛び越えた干渉をしない。

チェリストは、低音の包容力とリンクする人間的な包容力を持つ。話した時の心の受け皿が広い。が、モテ過ぎるのだから分らないが、女遊びが一番激しい(僕の友人は違う)。

ビオラ専攻で、嫌な人に会ったことがない。いやそれは言い過ぎ。だいたいに好かれる。仲間意識が強い。内向的なオタク気質が多い。既婚率高め。

ヴァイオリンの性格は腕による。うまい人は例外なく気が強い。自己主張が強いナルシスト。30過ぎても親の金を当てにする人が多い。

金管楽器の人はとにかくお酒に強い。体育会系で、飲み会をする頻度は全専攻随一。弦楽器専攻との接点が薄い。

サクソスの音色はどんなフレーズでもカッコよく鳴り響くから、僕は羨望のまなざしで見えています。そのためサクソスはとてもモテそうなイメージ

があります。しかし親しい人がいないため、あくまでイメージで、実際にモテるかは不明。自己顕示欲が強い。

あまり接点のなかった専攻に関しては、書き述べることを控えました。

これから演奏会に行く時、楽器別で注目しながら演奏を聴いてみるのも面白いかもしれません。どうぞよしなに。



好評発売中!
JITAN CLASSIC

profile

2010年3月に桐朋学園大学音楽学部大学院を修了。
2 ヴァイオリンとピアノのアンサンブル・ユニット「TSUKEMEN」のヴァイオリニストでリーダー。
2010年キングレコードからメジャーデビュー。
結成9年目にして450本以上の公演を海外や日本全国各地で開催、現在までにのべ35万人を動員している。

